

バンスリ(インドの竹笛)のお手入れ: ケアとメンテナンス

バンスリ・・・語源は、Baans(竹)+Sur(音符)

バンスリーは、竹だけから作られています。バンスリーを作るときに使用される竹は、インドの北東部や南部で主に発見される特定の種類の竹で、これらの種類は、節間がとても長く、また壁も薄く、バンスリを作るのにとっても適した竹なのです。

竹は、非常に弾力性がある丈夫なものですが、同時に非常に壊れやすいものでもあります。強く叩いたり乱暴な扱いをすると、バンスリに亀裂が入ってしまいます。以下は、あなたのバンスリが、長期間なめらかな吹き心地を確保するための提案です。

オイリング(油の補給)

オイリングは、長期的に見ると、水分・温度・湿度の反復的な変動による影響からバンスリを守るのを助けます。オイルは、バンスリの内側、特に吹き穴のあたりにしっかりと塗るべきです。オイルを内側に塗るのには、ある種の拭い布のような道具があると、管の内側に十分届いて便利です。木製のダボで固定された布付き棒に、滴り落ちない程度にオイルを付けて、管の内側にオイルを塗ります。オイリングするときには、その木製ダボが、吹き穴のところにあるストッパーに接触しないように注意して下さい。

バンスリのオイリングで覚えておくべきポイント

- ・ 新しいバンスリを手に入れたら、1週間以内に1回目のオイリングをしましょう。
- ・ 最初のオイリングの後、3~4ヶ月ごとに、バンスリのオイリングをしましょう。
- ・ 布付き棒は、楽に入るべきで、バンスリの内側に無理やり入れてはいけません。
- ・ 小さな綿棒で、吹き穴と指穴に、薄くオイルを付けましょう。
- ・ ココナッツ油、野菜の油、アーモンド油、からし油やクルミ油などを使うことができます。
- ・ 吹いたばかりの濡れた状態のバンスリにオイリングをしてはいけません。内側をちゃんと乾かして下さい。
- ・ オイルをビンディングに接触させてはいけません。

熱や機械的な衝撃からの保護

バンスリが壊れる主な原因は、亀裂です。竹は、長軸方向に走っている何千もの繊維から成り立っており、一箇所ですぐに小さな亀裂が発生すると、すぐに全長にわたって広がって行ってしまいます。亀裂の原因は、主に極端な高温や強い衝撃によるものです。竹は、温度変化の影響を非常に受けやすいのです。

バンスリの一般的だが重要なケア

- ・ 寒い環境での演奏は避けて下さい。温かい息を内側に吹き込むと、内面はすぐに膨張しますが、外側は冷たくて膨張しないので、それが亀裂に発展してゆく原因となります。
- ・ 極端な高温や低温に晒すことはしないで下さい。
- ・ バンスリは、ある程度、温かいところで保管して下さい。
- ・ バンスリは、ホコリがかぶるのを防ぐために、布にくるんで保管して下さい。
- ・ バンスリを、固いものの上に落としたり、固いものを叩いたりしないで下さい。
- ・ バンスリが、上下両端のビンディングで保護されていることを確認して下さい。
- ・ バンスリを、床の上に放置したりしないで下さい。誰かが踏んでしまうかもしれないし、あなたが踏むかもしれません。